

## 安全データシート ( Safety Data Sheet )

作成日 1996年1月19日

改定日 2022年2月17日

## 【1.化学品及び会社情報】

[化学品の名称]

日東スポーツライン

[会社情報]

会社名	日東粉化工業株式会社・日東粉化商事株式会社			
住所	〒555-0001 大阪府大阪市西淀川区佃 7-2-12			
担当部門	技術部 研究所			
緊急連絡先	TEL : 06-6472-7843 FAX : 06-6472-2848 メール: labo@nittofunka.co.jp			
製造工場	工場名	<input type="checkbox"/> 東城工場	<input checked="" type="checkbox"/> 福島工場	<input type="checkbox"/> 鈴鹿工場
	住所	広島県庄原市 東城町川西 1448-1	福島県田村市 滝根町神俣字五林平 3	三重県鈴鹿市 西庄内町白石 5127
	TEL	08477-2-2171	0247-78-2155	059-371-0311
	FAX	08477-2-4040	0247-78-3539	059-371-1475

## 【2.危険有害性の要約】

重要な徴候及び想定される  
非常事態の概要影響 : 現在のところ健康への影響は報告されていないが、粉状物質の微粒子を長期にわたって多量に吸すれば、肺障害の原因となる恐れが有る。経口摂取すると咳、悪心、嘔吐等を起こす恐れが有る。粉塵は眼、気道を刺激する。

特有の危険有害性 : 特にない

[ GHS分類 ]

<物理化学的危険性>	爆発物	区分に該当しない
	可燃性ガス	区分に該当しない
	可燃性・引火性エアゾール	区分に該当しない
	酸化性ガス	区分に該当しない
	高压ガス	区分に該当しない
	引火性液体	区分に該当しない

	可燃性固体	区分に該当しない
	自己反応性化学品	区分に該当しない
	自然発火性液体	区分に該当しない
	自然発火性固体	区分に該当しない
	自己発熱性化学品	区分に該当しない
	水反応可燃性化学品	区分に該当しない
	酸化性液体	区分に該当しない
	酸化性固体	区分に該当しない
	有機化酸化物	区分に該当しない
	金属腐食性化学品	区分に該当しない
	鈍性化爆発物	区分に該当しない
＜健康に対する有害性＞	急性毒性(経口)	区分に該当しない
	急性毒性(経皮)	分類できない
	急性毒性(吸入：気体)	区分に該当しない
	急性毒性(吸入：蒸気)	区分に該当しない
	急性毒性(吸入：粉塵/ミスト)	分類できない
	皮膚腐食性／刺激性	分類できない
	眼に対する重篤な損傷等/眼刺激性	分類できない
	呼吸器感作性または皮膚感作性	分類できない
	生殖細胞変異原生	分類できない
	発がん性	分類できない
	生殖毒性	分類できない
	特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
	測定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
	誤えん有害性	分類できない
＜環境に対する有害性＞	水性環境有害性 短期（急性）	分類できない
	水性環境有害性 長期（慢性）	分類できない
	オゾン層への有害性	分類できない

[ GHSラベル要素 ]

絵表示又はシンボル	: 該当なし
注意喚起語	: 該当なし
危険有害性情報及び注意書き	: 該当なし

**【3.組成及び成分情報】**

化学物質・混合物の区別	: 天然物質・単一製品	本製品は高品位の石灰石を粉砕、分級で製造した製品である。
化学名	: 重質炭酸カルシウム	
別名	: 炭酸カルシウム、炭カル、重タン、石灰石粉末	
英名	: heavy Calcium Carbonate、Limestone、	
成分及び含有量	: 重質炭酸カルシウム 100% (CaCO <sub>3</sub> : 97.5%以上 )	
化学式または構造式	: CaCO <sub>3</sub>	(炭酸カルシウム)
化審法公示番号	: —————	(1-122)
安衛法公示番号	: —————	
C A S No.	: 1317-65-3	(471-34-1)

**【4.応急措置】**

吸入した場合	: 新鮮な空気のある場所に移し、鼻をかみ、水でうがいをする。 多量の場合は医師の診断を受ける。
皮膚に付着した場合	: 付着部又は接触部を水で洗い流す。
目に入った場合	: 直ちに多量の水で洗い流す。異物感がある場合は医師の診断を受ける。
飲み込んだ場合	: 多量の水又は食塩水を飲ませ吐かせる。多量の場合は医師の診断を受ける。
急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状	: 情報なし
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	: 情報なし
医師に対する特別な注意事項	: 情報なし

**【5.火災時の措置】**

適切な消火剤	: 本品は不燃性であり、周囲の火災に対応した消化剤を使用する。
使ってはならない消化剤	: 特になし
火災時の特有の危険有害性	: 情報なし
特有の消化方法	: 消火発生場所の周辺に関係者以外の立入を禁止する。 消火作業の際は風上から消火活動をする。
消火活動を行う者の特別な 保護具及び予防処置	: 防火、防災、耐熱に対応できる保護着を着用する。

**【6.漏出時の措置】**

人体に対する注意事項	: (1)粉塵から身を守るために保護具を着用する。 (2)粉塵の飛散を防ぐ。
保護具及び緊急時措置	: (1)上記の保護具とは、【8.ばく露防止及び保護措置】の保護具を指す。 (2)緊急時措置として、このもの自体は安全性の高いものであるが、 周囲に拡散しないように素早く回収を行う。

- 環境に対する注意事項 : 回収物を排水溝や水路に流さないで回収する  
(作業場の外に流出させない)
- 封じ込め及び浄化の方法 : 粉塵が立たないようにしながらほうきや掃除機で回収し  
及び機材 産業廃棄物として廃棄する。
- 二次災害の防止策 : 排水溝、下水溝等への流出を防止する。

#### 【7.取扱い及び保管上の注意】

---

- [取扱い] 技術的対策 : 粉塵を立たないように作業を行うことが望ましい。  
もし、粉塵が立つようならば、保護具を着用して作業を行う。  
屋内作業場で使用する場合は粉塵が立たない様に集塵機等を取り付ける。

- 安全取扱注意事項 : (1)破袋防止のため、製品を投げ積みしない。  
(2)荷崩れしないよう製品の積み重ねは丁寧に行う。  
(3)吸湿させないように、地面に直置きしない。  
(本品をパレットの上におく等の措置をとる。)  
(4)酸から離しておく。

- [保管] 保管条件 : (1)本品が雨等に濡れないように屋内に保管する。  
(2)水気がない場所や湿度が低い場所に保管する。  
(3)酸から離しておく。

- 技術的対策 : (1)紙袋やフレコン等に包装されている場合は、湿気や水濡れ  
厳禁のため屋内にパレット積みにて保管する。  
(2)サイロ等に保管する場合は、本品が濡れないように除湿や  
禁水対策をとる。

安全な容器包装材料 : できるだけ透湿性のない材質

#### 【8.ばく露防止及び保護措置】

---

- 管理濃度 : 作業管理環境基準 : 設定されていない
- 許容濃度 : 日本産業衛生学会 : 吸入性粉じん 2 mg/m<sup>3</sup>、総粉じん 8 mg/m<sup>3</sup> (第3種粉じん)  
ACGIH (TLV) : TWA 10 mg g/m<sup>3</sup> (2009年)
- 設備対策 : 屋内作業場での使用の場合は発生源の密閉化、又は局所排気装置設置。
- 保護具 : 呼吸用保護具 : 防塵マスク  
手の保護具 : 保護手袋  
眼の保護具 : ゴーグル形保護めがね  
皮膚及び身体の保護具 : 作業服、作業靴、作業帽

## 【9.物理的及び化学的性質】

物理状態	: 微粉末
色	: 白色
臭い	: 無臭
融点・凝固点	: データなし
沸点又は初留点及び沸点範囲	: データなし
可燃性	: 不燃物につきデータなし
爆発下限界及び爆発上限界／可燃限界	: 不燃物につきデータなし
引火点	: 不燃物につきデータなし
自然発火点	: 不燃物につきデータなし
分解温度	: 900℃ (カルサイト)
pH	: 8.5～10.5
動粘性率	: データなし
溶解度	: 水に難溶
n-オクタノール／水分配係数 (log 値)	: データなし
蒸気圧	: データなし
密度及び／又は相対密度	: 2.7
相対ガス密度	: データなし
粒子特性	: データなし

## 【10.安定性及び反応性】

化学的安定性	: 安定
反応性	: 酸と混ざると二酸化炭素を発生しながら溶解する
危険有害反応可能性	: 900℃以上の加熱で熱分解すると酸化カルシウムと二酸化炭素に分解する
避けるべき条件	: 熱 (900℃以上)
混触危険物質	: 特になし
危険有害な分解生成物	: 酸化カルシウム

## 【11.有害性情報】

急性毒性	: 経口 : ラット LD <sub>50</sub> : 5000mg/kg 以上
皮膚腐食性／皮膚刺激性	: ウサギ : 500mg／24 時間 以上
眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	: ウサギ : 100mg／24 時間 以上
呼吸器感作性又は皮膚感作性	: データなし
生殖細胞変異原性	: データなし
発がん性	: データなし
生殖毒性	: データなし
特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	: データなし
特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	: データなし
誤えん有害性	: データなし

## 【12.環境影響情報】

生態毒性	: データなし
残留性・分解性	: データなし
生態蓄積性	: データなし
土壤中の移動性	: データなし
オゾン層への有害性	: データなし

## 【13.廃棄上の注意】

残余廃棄物:本品を産業廃棄物とし、許可を得た廃棄物処理業者に委託契約して処理をする。  
汚染容器及び包装:紙袋やラップ等は、残余廃棄物と同様に処理する。

## 【14.輸送上の注意】

[国内規制]	陸上輸送	: 特段の規制なし
	海上輸送	: 特段の規制なし
	航空輸送	: 特段の規制なし

[国際規制]	国連番号	: 該当しない
	品名	: 該当しない
	国連分類	: 該当しない
	海洋汚染物質	: 該当しない

[特別の安全対策] 輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れの無いように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。

## 【15.適用法令】

化審法:天然物であり対象外

化学物質把握管理推進法(PRTTR)対象化学物質:該当なし

粉じん則:特筆すべき毒性が認められず有害性が低いとされる化学物質の無機物であって粉状で取扱われるもの。(鉱物性粉じん)

## 【16.その他の情報】

- ・この情報は、新しい知見及び試験等により改正される事が有ります。
- ・記載内容は、現時点で入手出来た資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ安全性を保証するものではありません。
- ・注意事項は通常の手扱いを対象としたものですが、特別な手扱いをする場合には新たに用途用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
- ・全ての製品には、未知の有害性が有り得る為、手扱いには、細心の注意が必要です。ご使用各位の責任に於いて、安全な使用条件を設定下さる様お願い致します。